

第 2 期

「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

(素案)

きっと☆ずっと☆あさくち

令和 2 年 2 月

目 次

I	第2期「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について	
	策定の趣旨	1
	総合戦略の位置づけ	1
	対象期間	1
II	総合戦略の基本的な視点	
	浅口市の強み	2
	総合戦略推進に当たっての基本的な考え方	3
III	総合戦略	
	総合戦略の全体像	4
1	浅口市における安定した雇用を創出する	5
	就業の場の拡大	5
	産業の振興と生産性の向上	7
2	浅口市への新しいひとの流れをつくる	8
	移住・定住の促進	8
	観光の振興と交流の拡大	10
3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	13
	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	13
	子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上	15
4	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を 連携する	16
	持続的・自立的な地域の形成	16

I 第2期「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

策定の趣旨

- 加速する人口減少や少子高齢化に対応するため、国は第2期における「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
- 浅口市においても、「浅口市人口ビジョン（改訂版）」で示したように、2060年の人口は2015年の34,235人から17,000人程度にまで減少することが見込まれています。
- 少子高齢化を背景とする人口構造の変化や人口減少は、浅口市における経済活動やコミュニティ活動等の活力を衰退させ、ひいては浅口市における安定した生活・暮らしそのものの存立を脅かす事態となることが危惧されます。
- このような状況認識のもと、国・県の総合戦略を勘案しながら、人口減少に伴う地域課題に対応し、持続的に発展するまちとするために、今後浅口市がめざすべき方向性を示す、第2期「浅口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）を策定します。

総合戦略の位置づけ

- 総合戦略は、「浅口市人口ビジョン（改訂版）」で示した目標人口（戦略人口）を達成するために必要な4つの政策分野ごとの基本目標を示すものです。また、各政策分野を構成する施策については、効果を客観的に検証するためのKPI※（重要業績評価指標）を設定しています。
- ※KPI：Key Performance Indicatorの略
- 総合戦略は、平成28年度に策定した「第2次浅口市総合計画」との整合を図るものとなります。

対象期間

- 総合戦略の対象期間は、国の総合戦略と同じく令和2年度（2020）から令和6年度（2024）までの5年間とします。

II 総合戦略の基本的な視点

浅口市の強み

自然豊かで コンパクトなまち

○瀬戸内海の温暖な気候と豊かな自然、そこで暮らす思いやりあふれる人々が浅口市の魅力の基盤となっています。



アジア最大の 天文台のあるまち

○約60年の歴史を有する国立天文台ハワイ観測所岡山分室や、新たに建設された東アジア最大口径の3.8m望遠鏡を備えた天文台に加え、日本で最も晴れの日が多い「日本一晴れの国」という地勢的な利点を持つ浅口市は、「天文のまち」です。



豊富な特産物の あるまち

○金光町の植木、鴨方町の手延べ麺、寄島町の特産物をはじめ、浅口市には魅力的な特産物が豊富にあり、観光資源としても重要な役割を果たしています。



安心・安全なまち

○気候が穏やかで自然災害が少ないことに加え、防災・防犯への市を挙げた取組により、安心・安全なまちを実現しています。



交通の利便性が 高いまち

○近隣中核都市である岡山市・倉敷市・福山市に近く、山陽自動車道の鴨方ICや国道2号、山陽新幹線の停車駅である新倉敷駅まで一駅の金光駅と橋上駅舎の鴨方駅があり、交通の利便性が高い郊外都市として位置づけられています。

総合戦略推進に当たっての基本的な考え方

○浅口市人口ビジョン（改訂版）に掲げる浅口市の将来像を実現し、持続可能な地域づくりを推進するため、総合戦略全体に及び基本的な考え方を以下に示します。

①積極的かつ効果的な情報発信と市民との情報共有

市民と行政が将来像を共有し、目標に向かって共に歩いていくため、市民に対して行政情報を的確に伝えるとともに、市の魅力等を積極的に内外に発信し、市民としての誇りや一体感の醸成、市の知名度アップを図ります。

情報の発信に当たっては、行政の広報媒体だけでなく、マスメディア・インターネット等、目的やその情報を必要とする相手によって最適な媒体を選択し、効果的に情報を届けるとともに、サービスを楽しむ市民等の声に耳を傾け、政策・施策に反映させます。

②多様な主体との連携・協働

時代の変化に対応し、持続可能な地域社会を実現するため、市民・地域・団体・企業・行政等の多様な主体が適切なパートナーシップを築き、互いの特性を活かして連携・協力する創造性豊かな協働のまちづくりを推進し、効果的な地域課題の解決を図ります。

③地方創生を担う人材の育成

子どもたちに対し、独自の教育プログラムにより、バランスのとれた学力に加え、「ふるさと」に対する誇りや健やかな精神の醸成を図り、未来を担う人材を育成します。

また、人と人とのつながりによって地域の活力を維持・向上し、地域におけるまちづくりの機運を高めるため、中心となるリーダーの育成に努めるとともに、市民が必要とする支援を適切に行えるように、市職員の意識改革・資質向上を図ります。

④不断の行政経営改革

今後地方交付税額が縮減され、人口も減少していく中、限られた人材や財源で、未来を見据えた市の発展、市民の幸せを実現していくため、行政の効率化・財政の健全化等、将来にわたり不断の行政経営改革に取り組みます。

また、施策の推進に当たっては、何を優先して取り組むべきかを戦略的に考え、成果を重視し、市民の満足度を高めていきます。

⑤マネジメントシステム（PDCA*サイクル）による進捗管理

総合戦略をより実効性のあるものとするため、進捗状況を評価・検証するための「PDCAサイクル」を確立します。

また、評価・検証は、庁内組織のほか、妥当性を確保するため、外部有識者や市民代表が参画する検討組織等において行い、必要に応じて施策の追加・見直し及び総合戦略の改定を行います。

※PDCA：Plan（計画） - Do（実行） - Check（評価） - Act（改善）の略

Ⅲ 総合戦略

総合戦略の全体像

基本目標(数値指標、令和6年度)	施策の枠組み	具体的な施策
<u>1. 浅口市における安定した雇用を創出する</u> ◇市内民営事業所従業者数 9,518人	(1) 就業の場の拡大	①産業の担い手育成 ②産業間の連携 ③企業誘致の推進 ④情報発信の仕組み等の構築
	(2) 産業の振興と生産性の向上	①事業拡大等への経済的支援 ②産業の育成・強化
<u>2. 浅口市への新しいひとの流れをつくる</u> ◇移動数(転入-転出)0人	(1) 移住・定住の促進	①I・J・Uターンに向けた住まいの確保・情報提供の拡充 ②移動手段の確保 ③「ふるさと」に対する誇りを高める教育の推進 ④東京一極集中是正に向けた取り組み
	(2) 観光の振興と交流の拡大	①観光・集客資源の創出・整備 ②観光商品の創造・販売 ③交流・関係人口拡大に向けた情報発信 ④市民のおもてなし体制の整備
<u>3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</u> ◇合計特殊出生率 1.76	(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	①出会いから結婚までの支援の充実 ②経済的支援の推進 ③妊娠・出産環境の整備と支援の充実 ④子育て環境の整備と支援の充実 ⑤ワーク・ライフ・バランスの向上
	(2) 子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上	①地域の教育力の向上と活用
<u>4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</u> ◇自主防災組織率 72%	(1) 持続的・自立的な地域の形成	①安心・安全な地域機能の確立 ②地域を担う人材の育成とコミュニティ創生 ③公共施設等の維持管理と長寿命化の推進

1. 浅口市における安定した雇用を創出する

市内民営事業所従業者数 9,174人（H28年度）→9,518人（R6年度）

【施策の基本的方向】

- 倉敷市や福山市に近接している地理的好条件を最大限活かしつつ、産官学金連携のもと、商工業のイノベーション促進や創業・起業の支援を行い、地域の活性化と同時に、新たな雇用の創出を図ります。
- 農業・漁業分野においても、製品のブランド化、6次産業化*と担い手の育成を推進し、「儲かる農業」「儲かる漁業」の実現・拡大を図ります。
- 工業団地の整備を進め、新規企業の誘致により基盤産業の拡大と雇用創出を図ります。
- 産業全体の拡大・活性化を通じて、女性や高齢者がいきいきと活躍できる雇用環境の充実を図ります。

※6次産業化：農業や水産業等の第1次産業が食品加工・流通販売等の業務展開を行うこと

施策の枠組み 1

就業の場の拡大

【具体的な施策】

①産業の担い手育成

担い手の高齢化が進む農林水産業への就業促進や、市内常住の新規学卒者等の常用雇用者に対する雇用促進により、地域の産業の担い手の育成や地元企業の雇用の拡大に努めます。また、浅口商工会等と連携し、新規創業希望者がスムーズな開業を行うための仕組みづくりを推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
雇用奨励助成を活用した就業者数	1人(年間)	2人(年間)
創業支援事業による創業者数	15人(年間)	39人(年間)

<主な取組>

- ・農林漁業担い手就業事業
- ・新規学卒者雇用奨励助成
- ・創業支援事業
- ・企業立地優遇制度の活用

②産業間の連携

浅口市の特産物である農林水産物の生産振興と加工による新たな特産品づくりによって地域産業の発展を図るため、6次産業化を含め、農林水産業者と商工業者の連携を推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
農業参入企業数	1社(累計)	1社(累計)
浅口市産農林水産物を原材料とした「あさくちブランド」商品数	12個(累計)	15個(累計)

<主な取組>

- ・企業の農業参入促進
- ・6次産業化・農商工連携の推進

③企業誘致の推進

浅口市における新たな中核企業群を形成するため、企業誘致の基盤となる浅口工業団地の整備や奨励金の交付・税制優遇措置により、企業誘致を推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
工業団地整備面積	4.4ha(累計)	13.4ha(累計)
企業立地優遇制度活用件数	2件(累計)	6件(累計)

<主な取組>

- ・工業団地の整備
- ・企業立地優遇制度の活用

④情報発信の仕組み等の構築

市内の求人情報・就労支援情報について、求人情報誌や関係機関のパンフレットの設置に加え、市のホームページに掲載する等、幅広い情報発信を行います。また、貸出希望の農地の情報を集約・公開し、広く借受希望を募り、担い手への農地の集積を促します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
市の求人情報ホームページの情報更新回数	52回(年間)	52回(年間)

<主な取組>

- ・求人情報・就労支援情報の提供
- ・農地の貸出し・借入れの情報提供

施策の枠組み 2

産業の振興と生産性の向上

[具体的な施策]

①事業拡大等への経済的支援

市内企業の事業拡大等を後押しするため、設備資金の借入に対する利子補給による経済的な支援等を行います。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
設備資金利子補給件数	12件(年間)	20件(年間)

<主な取組>

- ・中小企業設備資金利子補助事業

②産業の育成・強化

販路拡大を含めた体質強化を図る企業の取組に対する一部経費の支給等の経済的な支援や、特産品のブランド化を推進します。また、特色ある新興作物の導入・産地化の支援や、農道・水路等の修繕・改良・補強により、農業の振興を図ります。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
成長支援事業補助件数	13件(年間)	15件(年間)
「あさくちブランド」認定数	32個(累計)	37個(累計)

<主な取組>

- ・販路開拓等の支援
- ・地域特産物のブランド化
- ・農道、水路等の修繕・改良工事の実施
- ・先端設備等導入の支援
- ・新興作物の導入と産地化
- ・ため池の補強整備

2. 浅口市への新しいひとの流れをつくる

移動数（転入－転出） 10人（H30年度）→0人（R6年度）

〔施策の基本的方向〕

- 市民が「住みよさ」を実感できるまちづくりを進めるとともに、まちへの誇りを持てる学習活動を推進し、雇用の確保と併せて市民の転出を抑制し、浅口市出身者の還流を図ります。
- 住環境・子育て環境の整備による移住・定住促進策を展開し、浅口市が持つ数々の強みと合わせた総合力で転入を促進し、近隣都市に就業している若い世代に選ばれるまちをめざします。
- 観光資源の発掘・ブラッシュアップや民間事業者との連携・融合、近隣との周遊性の向上を図るとともに、大都市圏への戦略的PRを実施し、更なる交流・関係人口の増加を図ります。

施策の枠組み 1

移住・定住の促進

〔具体的な施策〕

① I・J・Uターンに向けた住まいの確保・情報提供の拡充

住まいの確保に関しては、民間宅地開発の促進のため、既設道路の拡幅等を行い道路機能を向上させる道路整備に要する経費等に対し、奨励金を交付します。また、市営住宅の修繕や空き家の老朽化進捗の調査等を実施し、有効な活用に努めます。

情報提供の拡充に関しては、移住・定住者を獲得するためのポータルサイトの整備に加え、シティプロモーションを推進し、市の魅力や暮らしに関わる多様な情報を戦略的に全国に発信します。また、空き家情報バンクによる情報収集・情報提供を推進し、所有者と居住希望者のマッチングを行います。さらに、大学生等を対象にした就職面接会・説明会の開催等により、移住を促進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
あさくち住マイルロード促進事業奨励金の活用で造成された宅地区画数	46区画(累計)	66区画(累計)
移住・定住ポータルサイトのアクセス数	280件(月平均)	350件(月平均)
空き家情報バンク登録物件数	63件(累計)	150件(累計)

就職相談（面接）会開催回数	4回（年間）	4回（年間）
---------------	--------	--------

<主な取組>

- ・空き家の実態把握
- ・あさくち住マイルロード促進事業奨励金
- ・定住促進シティプロモーション戦略によるPR活動
- ・井笠地域等就職相談（面接）会
- ・市営住宅の老朽化対策
- ・移住・定住ポータルサイトの整備
- ・空き家情報バンクによる住宅情報の提供

②移動手段の確保

市営バス「浅口ふれあい号」の利用を促進し、継続的に運行することにより、市民の移動手段を確保します。

◎施策の目標

KPI （重要業績評価指標）	現状値 （H30年度）	目標値 （R6年度）
浅口ふれあい号の利用者数	30,239人（年間）	35,000人（年間）

<主な取組>

- ・浅口ふれあい号の運行

③「ふるさと」に対する誇りを高める教育の推進

天文台や文化財等を活用した浅口市でしか体験できない独自の教育プログラムや、特産品等を使用した学校給食の提供により、子どもたちを中心とした「ふるさと」に対する誇りを高める教育を推進します。

◎施策の目標

KPI （重要業績評価指標）	現状値 （H30年度）	目標値 （R6年度）
外部講師と連携した授業及び活動の回数	2回（年間）	3回（年間）
学校給食での特産品等に関する指導回数	2回（年間）	2回（年間）
学校運営協議会の回数	5回（年間）	5回（年間）

<主な取組>

- ・先人顕彰事業の推進
- ・天文や宇宙に関心を持たせる事業
- ・天文教育の充実
- ・姉妹都市交流の強化
- ・国際交流員の配置
- ・子ども天文クラブ
- ・子どもを対象にした宇宙自然講座
- ・学校給食での特産品等の使用
- ・国際理解の推進
- ・コミュニティ・スクールの充実

④東京一極集中是正に向けた取り組み

東京 23 区と連携し、都市と農山漁村の交流を通じて子どもの成長を支える事業を展開し、浅口市の活性化や地域間相互理解の深化につなげます。また、特別区区長会が主催する「特別区全国連携プロジェクト」に加盟し、専用ホームページや東京 23 区への情報発信を実施し、首都圏からの移住・定住を促進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30 年度)	目標値 (R6 年度)
子ども農山漁村交流事業の連携事業数	0 件 (累計)	5 件 (累計)
特別区全国連携プロジェクトに関する情報発信回数	0 回 (年間)	10 回 (年間)

<主な取組>

- ・子ども農山漁村交流事業の実施
- ・特別区全国連携プロジェクトでの情報発信

施策の枠組み 2

観光の振興と交流の拡大

[具体的な施策]

①観光・集客資源の創出・整備

浅口市の主要な観光拠点である竹林寺山周辺の活性化に向け、岡山天文博物館の機能を強化し、国立天文台や京都大学等と連携を図りながら、星空観測メッカならではの博物館運営をめざします。また、観光資源の発掘を進めるとともに、高梁川流域の市町や民間との多様な連携により、新たな浅口市における観光の形態をつくり出します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30 年度)	目標値 (R6 年度)
天文博物館入館者数	24,000 人 (年間)	25,000 人 (年間)
広域連携観光事業数	7 事業 (年間)	9 事業 (年間)
国立天文台観光利用回数	2 回 (年間)	10 回 (年間)

<主な取組>

- ・観光資源の発掘と広域連携の強化
- ・来館者を受け入れるための施設整備 (岡山天文博物館機能強化)
- ・大学や他の天文台と連携した事業
- ・3.8m 新望遠鏡に係る京都大学との連携
- ・プラネタリウム番組の充実
- ・天文関連イベントの充実
- ・星のパワーをもらうPR事業

②観光商品の創造・販売

新天文台の開設を契機として、浅口市をイメージさせる新たな土産品の開発、商品化を支援します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
あさくち土産開発品数	4個(累計)	10個(累計)

<主な取組>

- ・あさくち土産開発支援

③交流・関係人口拡大に向けた情報発信

市のホームページやSNS等を活用し全国に向けて浅口市の魅力・情報を広く発信するとともに、催事・観光展において動画等を活用し、交流・関係人口の拡大を図ります。また、ふるさと寄附金制度の推進により、地域特産品・観光資源のPRを行い、市の知名度向上と地域の活性化を図ります。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
催事等におけるマルチメディアを活用した観光PR回数	22回(年間)	30回(年間)
ふるさと寄附金件数	2,016件(年間)	3,000件(年間)
旅行事業者等との商談数	40社(年間)	50社(年間)
観光パンフレット配布部数	一部(年間)	4,000部(年間)
都市部での出展イベント数	1件(年間)	10件(累計)

<主な取組>

- ・ふるさと寄附金制度の推進
- ・旅行関連業者への観光情報発信
- ・都市部での観光・特産品PR事業
- ・マルチメディアによる観光情報発信
- ・みんなで浅口市観光PR事業

④市民のおもてなし体制の整備

市に訪れる人が快適な時間を過ごし、将来の再訪を促すため、浅口市観光協会が取り組む「浅口よいとこ応援隊」の活動を支援し、市の魅力発信や観光客へのガイド等、市民によるおもてなしの充実を図ります。また、広く市民が市内の観光や特産品について学ぶ機会を提供します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
浅口よいとこ応援隊員数	12人(累計)	14人(累計)

<主な取組>

- ・浅口よいとこ応援隊の活動支援
- ・観光や特産品に関する学習機会の提供

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

合計特殊出生率 1.38 (H29年度) → 1.76 (R6年度)

[施策の基本的方向]

- 若者への安定した雇用の確保に加え、出会いの場・機会の創出等の婚活支援策を推進し、未婚化・晩婚化の解消を図ります。
- ハード・ソフトの両面において出産・子育てしやすい環境を整備し、結婚からの切れ目ない支援で出産・子育て世代の希望を実現させます。

施策の枠組み 1

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

[具体的な施策]

① 出会いから結婚までの支援の充実

縁結びサポーター等の活動の推進や、市内外の婚活に関する情報を集約・発信することにより、市内の独身の男女の結婚に向けた相談や出会いの機会づくりを行います。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
縁結びサポーターによる成婚数	1組(累計)	5組(累計)

<主な取組>

- ・縁結びサポーターによる婚活支援
- ・婚活支援情報の収集・提供

② 経済的支援の推進

子育て世代の経済的負担軽減のため、子ども医療費の給付、保育料の軽減、新入学児童に対する学用品等の補助、不妊症治療費の助成等、妊娠・出産から子育てまでの多様な経済的支援を行います。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
子ども医療費給付対象年齢	中学3年生まで	中学3年生まで
不妊・不育治療費助成制度の有無	有	有

<主な取組>

- ・子ども医療費の給付
- ・生活保護世帯等の在園児における実費徴収に係る補足給付
- ・新入学児童に対する学用品等の補助
- ・保育料の軽減
- ・新入学児童に対する学用品等の補助
- ・不妊・不育治療費の助成

③妊娠・出産環境の整備と支援の充実

お産についての知識を学び、出産への不安を共有できる友達づくりの場として、妊婦さんに向けたマタニティクラスを実施します。また、出産後の育児への不安の解消のため、助産院でのケアへの助成や、産婦・乳児の訪問を行います。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
マタニティクラス参加割合	16% (年間)	20% (年間)
あかちゃん訪問割合	87.3% (年間)	希望者の100% (年間)

<主な取組>

- ・マタニティクラス事業
- ・あかちゃん訪問事業
- ・産後ママあんしんケア事業

④子育て環境の整備と支援の充実

未来を担う子どもたちの健やかな成長のため、子育て支援拠点施設や放課後児童クラブ施設の整備や独自の支援により、子どもを産み育て、共働きしやすい環境整備を推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
地域子育て支援拠点事業実施箇所数	2箇所	2箇所
放課後児童クラブの待機児童数	0人 (年間最大数)	0人 (年間最大数)

<主な取組>

- ・はじめまして子育てルーム
- ・要観察児教室
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・放課後子ども総合プラン
- ・利用者支援事業
- ・子どもの健診時の心理相談員相談
- ・夜間・休日小児救急医療支援
- ・放課後児童クラブの充実
- ・特別保育事業の充実
- ・家庭教育支援事業

⑤ワーク・ライフ・バランスの向上

若い世代が、結婚・子育てに向き合える就労環境づくりをめざすため、市のホームページにおける記事の掲載等により、企業・事業所や地域社会への普及・啓発を促進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
「おかやま子育て応援宣言」に登録している企業・事業所数	8社(累計)	10社(累計)

<主な取組>

- ・ワーク・ライフ・バランスの啓発
- ・自営型テレワークのためのDVD等の貸し出し

施策の枠組み2

子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上

[具体的な施策]

①地域の教育力の向上と活用

夏休み期間中の各公民館において学校・地域が連携し、学力向上を目的とした講座を企画・運営する等、地域ぐるみで効果的な学習サポート体制を推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
地域学校協働活動事業実施小・中学校区数	10校区	10校区
夏 GAKU サプリ実施公民館数	3館	3館

<主な取組>

- ・地域学校協働活動事業
- ・夏 GAKU サプリ in 公民館

4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

自主防災組織率 68.5% (H30年度) → 72% (R6年度)

[施策の基本的方向]

- 長期的な見通し・計画のもと、安心・安全な生活を営むための生活基盤の整備や維持を進めます。
- 防災・防犯等の地域自主組織の拡充や消防団の活性化を通じて、自助・共助・公助の再認識や地域のリーダーの育成を図り、地域コミュニティの変革・創生を促進します。
- 地域・世代間交流を促進し、市民の一体感を醸成するとともに、市民自らが地域への理解を深め、市民自らの行動による地域の自立・共生を支援します。
- 高梁川流域圏等の構成市町との連携を深め、まちづくりにかかる課題解決に共同で取り組みます。

施策の枠組み 1

持続的・自立的な地域の形成

[具体的な施策]

①安心・安全な地域機能の確立

防災・防犯設備等の整備に加え、消防団員の確保・能力強化や自主防災組織の拡充・活性化、さらに防災講習・出前講座の充実や災害時要援護者登録制度の推進等により、安心・安全な地域機能を確立します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
自主防災組織設置数	62 組織 (累計)	75 組織 (累計)
消防団員数	919 人	940 人

<主な取組>

- ・ 既設防犯灯のLED化
- ・ 消防設備・資機材の整備拡充 (消防団活動の充実)
- ・ 消防団員の確保・能力強化
- ・ 災害時要援護者登録制度
- ・ 未給水地の解消
- ・ 防犯カメラ設置事業
- ・ 自主防災組織の設立促進
- ・ 防災講習・出前講座等の充実
- ・ 空き家の実態把握【再掲】
- ・ 施設の耐震化による安全の確保
- ・ 公共下水道等整備促進

②地域を担う人材の育成とコミュニティ創生

まちづくりに市民が参加するための仕組みづくりや、未来の浅口市を担う人材の育成を推進します。また、スポーツ・文化芸術活動等の促進による、新たな地域コミュニティの創生をめざします。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
地域おこし協力隊員数	4人	6人
市民提案型協働事業数	31事業(累計)	55事業(累計)

<主な取組>

- ・市民提案型協働事業
- ・市民活動・地域情報の共有
- ・協議会型住民自治組織による地域自治の推進
- ・スポーツ教室の開催
- ・ニュースポーツの普及
- ・文化芸術活動の推進
- ・まちづくり講演会・講座の開催
- ・地域おこし協力隊の活用
- ・協働コーディネーターの導入
- ・高齢者支え合いサポーター事業の充実
- ・スポーツ施設の整備
- ・歴史的、文化的な資産の活用

③公共施設等の維持管理と長寿命化の推進

公共施設の更新・統廃合等の検討に加え、河川・道路等についても計画的な補修を行う等、長寿命化に向けた維持・管理を推進します。

◎施策の目標

KPI (重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)
公共施設個別施設計画の策定	0施設(累計)	90施設(累計)
河川の浚渫延長	1,159m(年間)	1,500m(年間)

<主な取組>

- ・公共施設個別施設計画の策定
- ・市道の計画的な維持・補修
- ・河川の計画的な維持・補修
- ・橋梁の計画的な維持・補修